

(2) これまでの取組実績と効果

「学芸大学駅周辺地区整備計画（2009（平成21）年3月）」策定後10年間における主な取組実績をみると、整備を伴うハード的な取組については、東急東横線高架橋の耐震補強工事とこの工事とあわせた高架下の駐輪場整備や商業環境整備、駅コンコース内や駅前広場の舗装改良などが行われ、これらの整備により、放置自転車数の減少、駅前空間の安全性・景観性の向上といった効果がみられます。また、交通安全対策を『あんしん歩行エリア形成事業計画』に位置づけて、事業の実施を段階的に進めており、これらの整備により、事故件数の減少といった効果がみられます。

さらに、整備を伴わないソフト的な取組については、商店街が中心となった『学芸大学街づくりの会』において、商店街の道路上の放置自転車や押し歩きなどの自転車利用、看板や商品の道路へのはみ出し抑制、景観配慮などを記した「学大商店街ルール」を作成し、ルールに基づく具体的な取組を実践しています。特に、自転車利用ルールに関しては、駅コンコース内や東西商店街など歩行者の多いところでは、自転車から降りてゆっくり押して歩くこと（以下「押しちゃり」という。）を呼び掛ける運動などを定期的・継続的に実施しており、駅コンコース内では、自転車利用者の約8割が自転車の押し歩きを実践するなど、効果がみられます。

しかし、一方で課題が残っている部分もあることから、整備を伴うハード的な取組については、整備が完了していない事業を継続して計画的に進めるとともに、整備を伴わないソフト的な取組については、取組の拡大・強化をめざし、長期的に住民等と一緒に進めることとします。

これまで進めてきた8つのプランにおける主な取組実績と主な効果は以降のとおりです。

※ 効果の詳細は、「1. 学芸大学駅周辺地区の現状と課題（1）工」参照。

プラン1. 駅・交流広場等の一体的整備

主な取組実績	完了年度	事業主体
・東急東横線高架橋の耐震補強工事	2011（平成23）年度	東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）
・耐震補強工事とあわせた高架下店舗工事	2011（平成23）年度	東急電鉄
・高架下店舗（東急ストア含む）入り口等のバリアフリー化、駅コンコース内の舗装改良、施設案内板設置	2011（平成23）年度	東急電鉄
・鮫洲・大山線の高架下の横断歩道改良	2011（平成23）年度	目黒区
・駅コンコース内柱の耐震補強工事	2013（平成25）年度	東急電鉄
・駅前の舗装改良	2012（平成24）年度	目黒区
・屋内型喫煙所新設と駅西口指定喫煙所の移設及び喫煙所併設による鉄道高架下公衆トイレの改修工事	2016（平成28）年度	目黒区
<p>《主な効果》</p> <p>・東急東横線高架橋の耐震補強工事とこの工事とあわせた高架下の駐輪場整備や商業環境整備、駅コンコース内や駅前広場の舗装改良などが行われ、これらの整備により、放置自転車数の減少、駅前空間の安全性・景観性の向上といった効果がみられます。</p>		

プラン2. 駅周辺自転車対策

主な取組実績	完了年度	事業主体
・東急東横線高架下の駐輪場整備	2011（平成23）年度	東急電鉄
・「学大商店街ルール」に基づき、駐輪場利用促進の呼びかけ等を実施	2012（平成24）年度より実施中	目黒区 東急電鉄 東急ストア 商店街 住民
・定期的な押しちゃりキャンペーンの実施	2014（平成26年）10月より月1回、定期的 に実施中	商店街 住民
・自転車等放置禁止区域の拡大	2017（平成29）年度	目黒区
<p>《主な効果》</p> <p>・東急東横線高架下の駐輪場整備や「学大商店街ルール」に基づく駐輪場利用促進の呼びかけ等により、駅コンコース内にあふれていた自転車がなくなり、放置自転車台数は、地区整備計画を策定した平成20年度に比べ1/3程度にまで減少しました。しかし、依然として放置自転車が存在するため、歩行の妨げとなっています。</p> <p>・定期的な押しちゃりキャンペーンの実施により、駅コンコース内では、自転車利用者の約8割が自転車の押し歩きを実践するなど、効果がみられます。しかし、未だ約2割の自転車利用者は、乗ったまま駅コンコース内を出入りしています。</p>		

プラン3. 安全・安心・快適な歩行ネットワークの形成

主な取組実績	完了年度	事業主体
・「学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成事業計画」(平成23年3月策定、同年9月改定)に位置づけた交通安全対策の整備工事及び具体化の取組を、段階的、計画的に実施	2011(平成23)年度より実施中	目黒区
・鷹番通り他	2011(平成23)年度	
・西口商店街・東口商店街(碑文谷公園通りから鷹番通り)	2012(平成24)年度	
・西口商店街・東口商店街(碑文谷公園通りより西側、鷹番通りより東側)	2013(平成25)年度	
・唐ヶ崎通り(碑文谷公園通りから鷹番通り)	2014(平成26)年度	
・東西の鉄道脇(バス通りから唐ヶ崎通り)	2015(平成27)年度	
・駅東口南北通り(バス通りから唐ヶ崎通り)	2016(平成28)年度	
・碑文谷公園通り(バス通りから鉄道高架下)、バス通り(駒沢通りから碑文谷公園通り)	2017(平成29)年度	
・「ゾーン30」の設定(参考-5を参照)		警察
・鷹番3丁目	2013(平成25)年度	
・鷹番1・2丁目、中央町、碑文谷5・6丁目	2014(平成26)年度	
・商店街の道路上の放置自転車や看板や商品の道路へのはみ出し抑制等について、「学大商店街ルール」を作成し、周知・徹底の取組を実施	2012(平成24)年度より実施中	商店街住民
・碑文谷公園前交差点における仮整備とあわせた歩行者の道路横断環境整備	2013(平成25)年度	目黒区
・補助26号線整備に関する安全対策等について東京都へ要望	2014(平成26)年度	目黒区
<p>《主な効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策を「学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成事業計画」に位置づけ、計画的に整備工事を実施していることにより、整備実施済み路線においては、平成22年～平成28年の事故件数が、20件から8件と約半分以下に減少し、整備の効果が見られます。 ・整備済み交差点の主要箇所では、12時間交通量及びピーク時間帯交通量のいずれも、概ね減少が見られます。一方、車両の速度は、歩行者優先ゾーン外周の主要道路4路線中整備済み2路線のうち1路線で少しの速度低下が見られたものの、もう1路線では、片方向で速度上昇が見られたことから、対策の検討が必要です。 ・「学大商店街ルール」が作成され、取組の土台づくりが完成しています。 ・「学大商店街ルール」に基づき、商品のはみ出し抑制等への取組が実践され、一時抑制が見られたものの、継続的な抑制を促すことが課題となっています。 		

プラン 4. 碑文谷公園の魅力化

主な取組実績	完了年度	事業主体
・碑文谷体育館の耐震化	2012（平成 24）年度	目黒区
・公園出入口部及び園路の段差解消工事等	2009（平成 21）年度 より実施中	目黒区
・防犯カメラの設置、照明灯の増設、樹木伐採による死角の解消、水質改善	2016（平成 28）年度	目黒区
・下水道直結型トイレ整備（碑文谷公園）	2008（平成 20）年度	目黒区
≪主な効果≫ ・公園出入口等の段差解消や碑文谷体育館の耐震化により、安全性の向上がみられます。		

プラン 5. 小学校や住区センター、旧六中跡地の福祉機能等の向上

主な取組実績	完了年度	事業主体
・下水道直結型トイレ整備（鷹番小学校）	2007（平成 19）年度	目黒区
・井戸の維持・管理実施（鷹番小学校）	1998（平成 10）年度 より継続実施	目黒区
・スマイルプラザ中央町（旧六中跡地）オープン ・福祉避難所に指定	2010（平成 22）年度	目黒区
・目黒かえで保育園の整備	2017（平成 29）年度	民間事業者
・スマイルプラザ中央町への安全なアクセス経路確保について東京都へ要望	2014（平成 26）年度	目黒区
≪主な効果≫ ・旧六中跡地の土地利用転換により、福祉機能の向上がみられます。		

プラン 6. 将来の補助 26 号線の整備を契機とした街づくり

主な取組実績	完了年度	事業主体
・補助 26 号線の整備に伴う区道との取付道路位置の決定（旧・粗大ごみ中継所地内を利用した目黒通りとの交差点の安全性向上）	2012（平成 24）年度	目黒区
・接続する目黒・駒沢通りとの交差点についての東京都への要望	2014（平成 26）年度	目黒区
≪主な効果≫ ・東京都への回答・要望により、安全性向上への効果が期待されます。		

プラン7. 商店街の景観形成

主な取組実績	完了年度	事業主体
・耐震補強工事とあわせた高架下店舗工事	2011（平成23）年度	東急電鉄
・商店街の道路上の放置自転車や看板や商品の道路へのはみ出し抑制、街並み景観形成等について、「学大商店街ルール」を作成し、周知・徹底の取組を実施	2012（平成24）年度より実施中	商店街
・「学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成事業計画」（平成23年3月策定、同年9月改定）に位置づけた交通安全対策の整備工事として、東西商店街及び鉄道脇の南北商店街の歩行空間や車道の全面カラー化を実施	2012（平成24）年度 2013（平成25）年度 2015（平成27）年度	目黒区
≪主な効果≫ ・「学大商店街ルール」が作成され、取組の土台づくりが完成しています。 ・東急東横線高架下商店街の商業環境整備や東西及び南北商店街の歩行空間や車道の全面カラー化により、商店街の景観性の向上がみられます。		

プラン8. 住民が主体となって進める街づくり

主な取組実績	完了年度	事業主体
・実態に即したルールづくり（絶対高さ制限（平成20年指定）、最低敷地制限（平成21年指定）など）を実施	2008（平成20）年度、 2009（平成21）年度	住民
・防犯カメラの設置	2011（平成23）年度 2013（平成25）年度	町会（三谷北、鷹番1・2丁目）・商店街
・Wi-Fiの設置（学芸大学駅前）	2018（平成30）年度	目黒区
・ビオトープづくり（鷹番小学校）	2011（平成23）年度	目黒区
・商店街街路灯のLED化	2018（平成30）年度	目黒区
≪主な効果≫ ・マンション紛争がなくなり、良好な住環境が保全されています。 ・防犯カメラの設置により、街の安全性の向上がみられます。		